

維新の会の安浪順一です。

維新の会を代表いたしまして、本委員会に付託された平成28年度決算並びにその他関連諸案件につきまして、意見表明を行なって参ります。

平成29年4月からスタートした総合計画では本市が将来どのような町になっていたかと言う街の姿を4つの「ありたいまち」で表現しています。

- ① 人が育ち互いに支え合う街
- ② 健康 安全 安心を実感できる街
- ③ 地域の資源を活かし活力が生まれる街
- ④ 次の世代により良い明日をつないでいく街

その実現に向けた取り組みを進めることで本市が住み続けたい、住んでみたいと思われる魅力的な街になることを目指しています。とありますが、

どれだけのことがなされたのでしょうか。

公共施設は老朽化を迎え財政難を理由に市民サービスを削り、未だに人口減少は進んでいます。尼崎の何処に住み続けたい、住んでみたい、そう思える魅力的な街があるでしょうか。

住み続けたい、住んでみたい、住んでよかったと実感出来る市政運営を目指して頂きたいと思えます。

それでは要望を述べて参ります。

最初に尼崎市総合文化センター補助金についてです。

尼崎市総合文化センター補助金等について掲げている全ての目標指標が達成されておらず、達成率も低水準となっていることから補助金の決め方や補助金額を再考する事、また3億円を超える補助金を出し続けるのではなく自助努力を促しながら後押しする姿勢に切り替えて行く事を要望します。

メディア対策について

メディア対策やSNS対策など全庁横断的な発信報道を一手に引き受ける部所を創設する事、また広報スキルの非常に高い人材を外部登用し、戦略的かつ効果的な情報発信出来る組織を作事を要望いたします。

ファミリー世帯の定住、転入促進について

「ファミリー世帯の定住、転入促進」に関する施策は複数に渡ることから、施策間で十分に連携を図り効果的に推進していく必要がある。

しかしながら、「ファミリー世帯の定住、転入促進」に対する各施策の寄与度の分析や総合的な推進を測る見地からの評価がなく、その進捗状況や成果がわかりにくい事から横断的に分かりやすく把握出来る仕組みを構築し、評価を行うべきである。

最終成果の測定は困難であるかもしれないが、市民から見ても分かりやすい公表の方法を工夫

してもらふ事を要望します。

#### まちの魅力と増進について

本市の魅力と増進について、これまでのマイナスイメージの払拭を目指して本市の魅力を飛躍的に向上出来るチャンスとして、城内街創りと再建される尼崎城を最大限に活用するなど様々な施策、事業を展開しています。

これらのシティープロモーションに係る取り組みについても、費用対効果を含めた客観的かつ具体的な成果が把握出来るよう適切な目標、測定指標を設定してもらふ事を要望致します。

#### 自転車走行空間整備事業についてです。

平成28年度決算の施策評価結果の一次評価では 尼崎市自転車ネットワーク整備方針に基づき整備され市道ネットワークが延伸されました。

平成37年度の事業完了(全延長35km)に向け、今後1年で何キロ整備を進めるなど具体的な計画を示されますよう要望致します。

また、ネーミングライツ手法を取り入れ、協賛企業名を自転車レーンに塗装するなど財源確保されるよう、要望致します。

#### 続きまして子育てファミリー世帯についてです。

子育てファミリー世帯のニーズに沿った住宅を提供出来るよう、空き家の利活用を検討するとしており、本市の最重要課題である事を踏まえ住宅政策におけるファミリー世帯の定住転入促進の取り組みについては、速やかにより一層の展開を図る事を要望致します。

#### 児童ホームの待機児童の早期解消についてです。

児童ホームの待機児童者数が平成28年度344人となっており、本市として重点化する施策として施設整備、校舎活用など手法により待機児童解消に向け取り組んでいます。

潮小学校では、現在空き教室活用をしており問題なく運営されています。

今後、待機児童の多い学校では空き教室があれば児童ホームの活用も可能だと思いますが、ない場合でも一年生が使っている教室等に個人用電子ロッカーを設置するなどして、児童ホームとして教室を共同使用されるよう要望致します。

#### 生活保護費について

平成27年4月1日に施行された「生活困窮者自立支援法」では生活保護に至る前段階の生活困窮者を対象とした自立相談支援事業、住居確保給付金の支給、就労支援事業、一時生活支援事業、家計相談支援事業、学習支援、就労訓練事業を実施し自立促進を進めておられます。

またこれとは別に従前より生活保護受給者に対する就労支援の取り組みなども行い、生活保護費の軽減を進めてきております。

しかし生活保護費は増加しています。その一つが不正受給者です。不正受給者をなくす努力をする事を強く要望します。

もう一つ生活保護費増加の主な要因は医療扶助費であります。

医療扶助費の適正化については、これまでも本市ホームページなどでの呼びかけや指導などの取り組みを行っておられますが、しかしながら年々増加傾向にあります。

今後 頻回受診や後発薬利用のチェックまた健康診断ヘルスアップの積極的な取り組みなどの対策を早急にやる事を要望致します。

続きましてたばこ対策の条例制定について

たばこ対策の条例制定に向けて予定しているスケジュール通り平成30年6月の条例議案の上程を見据えて進めて行く事、また理念条例にならない様、実際に市民が活用出来る条例にする事を要望致します。

続きましてごみの収集について

平成22年度に尼崎環境財団に不法投棄防止対策業務や不法広告物等除去業務を委託して以降不法投棄、ごみの収集量は減少し当時の二分の一程になっているにも関わらず、事業費は平成22年度より160万円程増えています。

適正な委託料にする為、目標指標を作り、数値で評価出来るようにする事、またそれに合わせて委託契約の内容や委託料の見直しを行うとともに市民通報システムなどの新たな仕組み作りも行う事を要望致します。

シルバー人材センターについて

尼崎市シルバー人材センターにおいて何年も目標指標「尼崎市シルバー人材センター」の会員就業率が達成されていない為運営補助費の決め方や補助費額を再考する事、また補助金を使いOB職員を採用するのではなく、シルバー人材センター内で人材を育成し、団体の安定的かつ自立経済の確立に向けて自助努力させる事を要望致します。

モーターボート競争事業について

本市では昭和27年から競艇事業を実施しており、これまでに事業収益から本市財政に3,300億円を超える繰り出しを行って街作りのに貢献してきました。

しかし競艇事業の売上は平成3年度をピークに減少に転じ、景気の低迷やレジャーの多様化等に寄って厳しい経営状況が続いています。

本市にとっては競艇事業からの繰り出し金は貴重な自主財源であり、まさに競艇事業の最大の使命

は市財政の貢献であります。今後、コストを削減し売上を上げるよう節に要望致します。

#### 民活法人支援事業貸付金回収について

民活法人支援事業貸付金回収金、いわゆる「株式会社エーリック」に対する貸付金の回収金について本市より平成5年より株式会社エーリックに対して運転資金として、短期貸付金いわゆる一年未満で貸付を行い、年度末の3月31日に回収致しております。

株式会社エーリックは年度末の返済資金が必要になりますので、つなぎ融資として市が保有する基金から貸付を行っております。この貸付がオーバーナイトと呼ばれるものです。本市より株式会社エーリックに対して短期貸付金とオーバーナイトをやめる事を要望致します。

#### 英語ホップステップジャンプ事業についてです。

平成28年度新規事業として始まり生徒の英語力の向上を推進する為、中学生を対象とした英語検定の受験料補助、実践的英語能力の向上を図る為、中学2年生を対象とした英語合宿（英語キャンプ）や高校2年生を対象とした海外での語学研修を実施しています。

英語検定試験は6月、10月、1月の年3回ありますが、本市の補助は10月受験に限定しています。今後受験者数を増やす為、10月受験に限定せず年一回補助するよう要望致します。

また受験料の補助については、半額公費負担にするなど補助金額の増額を要望致します。

英語学習合宿については、参加生徒のアンケート結果でも効果が出ている事から参加生徒数を現在の50人から増やしていただくよう要望致します。

#### 続いて学校の空調設備について

全館空調設備の老朽化により冷房の効かない学校については指標「普通教室空調機設置率」に未設置校として反映する事、また長期休養日を変更して年間授業日数を増やす。平成30年夏までに全館空調設備の老朽化により冷房の効かない学校の生徒も冷房の効いた教室で授業が受けられるようにする事を強く要望致します。

#### 教育費貸付金元利収入について

私立大学等の入学支度金の未回収について、返した者と返さない者との不公平感が否めない。未回収者に対しての引き続いての催促と完全回収を要望致します。

#### 学校開放について

市民の健康、体力づくり推進の為、小中学校の校庭と体育館を開放しており、児童生徒が使用しない日や時間帯などに市民に開放しています。

管理業務は、現在外部委託をしており、委託料は平成28年度決算で約7,100万円になってい

ます。

近隣市の西宮市や伊丹市などでは管理、運営を地域に協力を求めるなどしており、予算は0円で実施しています。

現在、本市において進めているスポーツクラブ 21 杭瀬に地域への運営移行のモデルケースをつくり他の学校へ早急に拡大させるよう要望致します。

以上

ルル要望して参りました。

子供達や高齢者が安心、安全に暮らせるマナーの良い街づくり財政が瀕拍した中で一定の評価はしています。

「ひと咲き、まち咲き、あまがさき」活気あふれるそんな街づくりを目指して頂く事を節に要望致しまして維新の会の意見表明とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。